

「松原地区のまちづくりビジョン」策定の目的

1 現在の地域社会の状況

人口減少や少子・高齢化の進展等により社会環境が大きく変化するなか、今後の地域社会においては、市民主体により、これらの変化に対応することが求められるとともに、地域固有の魅力や特色を見つめ直し、その維持と発展に取り組むことが期待されています。

2 社会教育や社会教育施設に求められる役割

地域における社会教育には、市民一人ひとりの生涯にわたる学びを支援し、市民相互のつながりの形成を促進することに加え、地域の持続的発展を支えることがより一層期待されていると言えます。

社会教育の拠点となる社会教育施設には、これまで担っていた地域の学習拠点としての役割のほか、地域課題の解決のため、その成果を学びの推進や実際の活動につなげていく役割、地域コミュニティの維持と持続的な発展を推進するセンター的役割、地域活性化・まちづくりの拠点としての役割、地域の防災拠点としての役割等が求められています。

3 松原地区の課題

本市の松原地区は、中央市民センターや旧市民図書館、棟方志功記念館等の文化・社会教育施設が立地し、旧来より本市の社会教育において重要な拠点としての役割を果たしてきましたが、現在は地区内各施設の老朽化に伴い、その対応等が課題となっているところです。

4 ビジョン策定の目的

現在の地域社会においては社会教育の拠点となる社会教育施設の重要性がより増していることから、本市の文化・社会教育施設が集積する松原地区において、現状を整理し、コミュニティ拠点機能の強化など市民ニーズ等を踏まえた再整備の方向性を示すため、「松原地区のまちづくりビジョン」を策定するものとします。